

事務事業名		地域生活支援事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業					
政策体系	政策名	0 2 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目					
	施策名	1 1 障がい者(児)支援の充実				会計	款	項	目	事業	
	基本事業名	0 1 社会参加の促進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 H18 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	03	01	02	16	
根拠法令		障害者総合支援法、大船渡市地域生活支援事業実施要綱		事務事業区分		A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(1～4以外)					
所属	部課名	保健福祉部地域福祉課		総投入量 (千円)		事業費		財務内訳		国庫支出金	
	課長名	藤原 秀樹		事業費		人件費		都道府県支出金		都道府県支出金	
	係名	障害福祉係	電話	27-3111		人件費		地方債		地方債	
	担当者	熊谷 小百合	内線	187		人件費		その他		その他	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		・障害者及び障害児が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができることを目的とする。 ・相談支援、意思疎通支援、手話奉仕員養成研修事業、日常生活用具給付、移動支援、地域活動支援センター、理解促進研修、自発的活動支援事業、成年後見制度利用支援事業等の必須事業に加えて、地域の特性や利用者の状況に応じて事業を選択実施し、柔軟な事業形態により効率的かつ効果的に実施する。 ・事業実施の方式は、委託事業、補助事業、実行委員会形式、謝金支出による方式がある。 ・上記必須事業のほか、訪問入浴、日中一時支援、生活訓練、社会参加促進(障がい者作品展、点字声の広報、声の福祉図書館、自動車運転免許取得、自動車改造助成事業等)の各事業。 ・事業費は主に、委託料、補助金として支出している。		全体計画(※期間限定複数年度のみ)		事業費計(A)		0		0	
				総投入量 (千円)		人件費		延べ業務時間		0	
				総投入量 (千円)		人件費		人件費計(B)		0	
				総投入量 (千円)		トータルコスト(A)+(B)		0		0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
① 手段(主な活動)		名称		単位
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 委託、補助対象事業所(団体)数		ヶ所
①委託契約、委託料支払、実績報告受理②補助申請受付、補助金交付決定、補助金支払③謝金支払、実績報告受領④実行委員会議、イベント開催準備等⑤助成金支給申請、支給決定、助成金支払等		イ スポーツレクリエーション、デイケア開催のべ回数		回
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ 自動車改造及び運転免許取得費助成金支給決定者数		人
前年度と同じ		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		カ 身体障害者手帳所持者数		人
障害者または障害児		キ 療育手帳所持者数		人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ク 精神障害者保健福祉手帳所持者数		人
障害者または障害児がその有する能力及び適性に並び、地域で安心して自立した日常生活を営むことができるようになる。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		単位
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ 本事業の延べ利用者数		人
社会参加できるようになってもらう。		シ		
		ス		

(2) 総事業費・指標等の推移		年度		27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(実績)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	13,683	12,833	12,402	9,487	8,225	8,511
			都道府県支出金	千円	6,841	6,416	5,785	4,744	4,027	4,120
			地方債	千円						
			その他	千円						
			一般財源	千円	23,891	23,419	25,444	28,802	30,846	30,818
	事業費計(A)			千円	44,415	42,668	43,631	43,033	43,098	43,449
	人件費	正規職員従事人数	人	3	4	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	500	500	700	700	700	700	
		人件費計(B)	千円	2,000	2,000	2,800	2,800	2,800	2,800	
		トータルコスト(A)+(B)			千円	46,415	44,668	46,431	45,833	45,898
⑤活動指標			単位							
ア			ヶ所	15	19	19	22	23	25	
イ			回	30	30	30	30	30	30	
ウ			人	1	2	2	1	3	0	
⑥対象指標			単位							
カ			人	1,712	1,663	1,633	1,613	1,617	1,588	
キ			人	419	427	419	426	433	429	
ク			人	205	231	273	305	318	336	
⑦成果指標			単位							
サ			人	6,487	7,732	7,618	8,166	8,746	8,257	

事務事業ID	1131	事務事業名	地域生活支援事業
--------	------	-------	----------

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
平成18年10月からの障害者自立支援法（現在：障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）に基づき、市町村が行う事業として位置づけられた。

② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
従来は、身体障害者福祉法に基づく社会参加促進事業として実施されていたが、平成18年10月からの障害者自立支援法（現在：障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）の施行により、知的障害者や精神障害者、障害児も対象とし、障がい者の地域移行を推進する目的で実施されることとなった。障がい者が地域で安心して暮らせるための体制づくりが求められている。

③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？  
様々な事業メニューにより、障がい者の社会参加が推進されているため、当該事業に関係する障がい者団体等から事業の継続や予算措置についての要望が寄せられている。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	障害者(児)が自立した日常生活を送ることができるようになることは、積極的な社会参加に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	法律により事業の実施が自治体の責務とされていることから妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	対象者及び意図は、法令で定められているため妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	障害者のニーズ把握に努めるとともに、事業の周知を図る。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	法律により必須事業とされる事業もあり、障害者が必要としているサービス等を受けられなくなることから、事業の廃止、休止は出来ない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	事業費の削減は、法律の趣旨に反し障害者の社会参加の低下につながるため削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	必要最低限の業務時間で取り組んでおり、これ以上業務時間を削減することはできない。また、委託可能なものは既に委託している。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	自立支援給付事業に準じて、原則1割負担としている。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 障害者の地域での自立と、生きがいを創出するために必要な事業であり、今後も、制度に基づき適切に事業を実施する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	法令に基づき、継続して適切に事業を実施する。 実施が任意とされている事業については、他市の状況を見ながら見直しを検討する。